

鳴門教育大学大学院学校教育研究科改組の基本方針と概要

1 大学院学校教育研究科の改組（図1参照）

教員養成を目的とする大学院教育の実質化を図るため、大学院学校教育研究科を改組する。

2 既存修士課程の専攻，コースの改組（図2参照）

修士課程を次のように改組する。

- ① 既設修士課程のうち、学校教育専攻（7コース）は廃止し、「人間教育専攻」（入学定員90人）を新設する。
- ② 新設の人間教育専攻は、既設の総合学習開発コースを現代教育課題総合コースと改称し、人間形成コース（15人）、幼年発達支援コース（15人）、現代教育課題総合コース（15人）及び臨床心理士養成コース（45人）の4コースで構成する。（既設の学校改善コース、授業開発コース、生徒指導コースの3コースは廃止）
- ③ 特別支援教育専攻（入学定員20人）の入学定員は変更しない。
- ④ 教科・領域教育専攻（入学定員140人）は、言語系コース、社会系コース、自然系コース、芸術系コース、生活・健康系コース及び新設する国際教育協力コースの6コースで構成する。

3 既設修士課程の教育改革とカリキュラムの特色（図3参照）

- ① 今日の教育課題に関わって、教員として修得することが必要となっている基本的事項について修得させる共通科目（「教職共通科目」）を新たに開設する。
- ② 実践力の基盤となる高度な専門性を修得させる「専門科目」として、領域等内容科目群及び領域等方法科目群を位置づける。
- ③ 学校等との連携のもとで、実践力を培う授業科目としてさらにその性格を明確化し、教科・領域等における理論的な知識を実際の授業場面等で応用及び検証するための授業科目（「教育実践フィールド研究」）を新たに開設する。
- ④ 特定の教科における教育実践力だけでなく、他の教科の内容・指導方法とも関連づけながら、現代の教育課題に応えうる教育実践を構想、展開するための知識と観点の修得をねらいとする、「広領域コア科目」を新たに開設する。

4 名称変更・新設コースの入学定員

- 人間教育専攻「現代教育課題総合コース」（現「総合学習開発コース」を名称変更）は、学生の志願・入学状況及びフィールドワーク、ロールプレイングなどの教授方法を積極的に採り入れ、又複数の教員が授業担当し、小人数グループの授業を推進していることなどを勘案し、入学定員を15人（△5人）とした。
- 教科・領域教育専攻「国際教育協力コース」（新設）は、理数科教育及びIT教育分野を専門領域としていること、フィールドワーク、ロールプレイングなどの教授方法を積極的に採り入れ、又複数の教員が授業担当し、小人数グループの授業を推進することなどを勘案し、入学定員を10人とした。

図1 鳴門教育大学学校教育研究科改組の基本方針

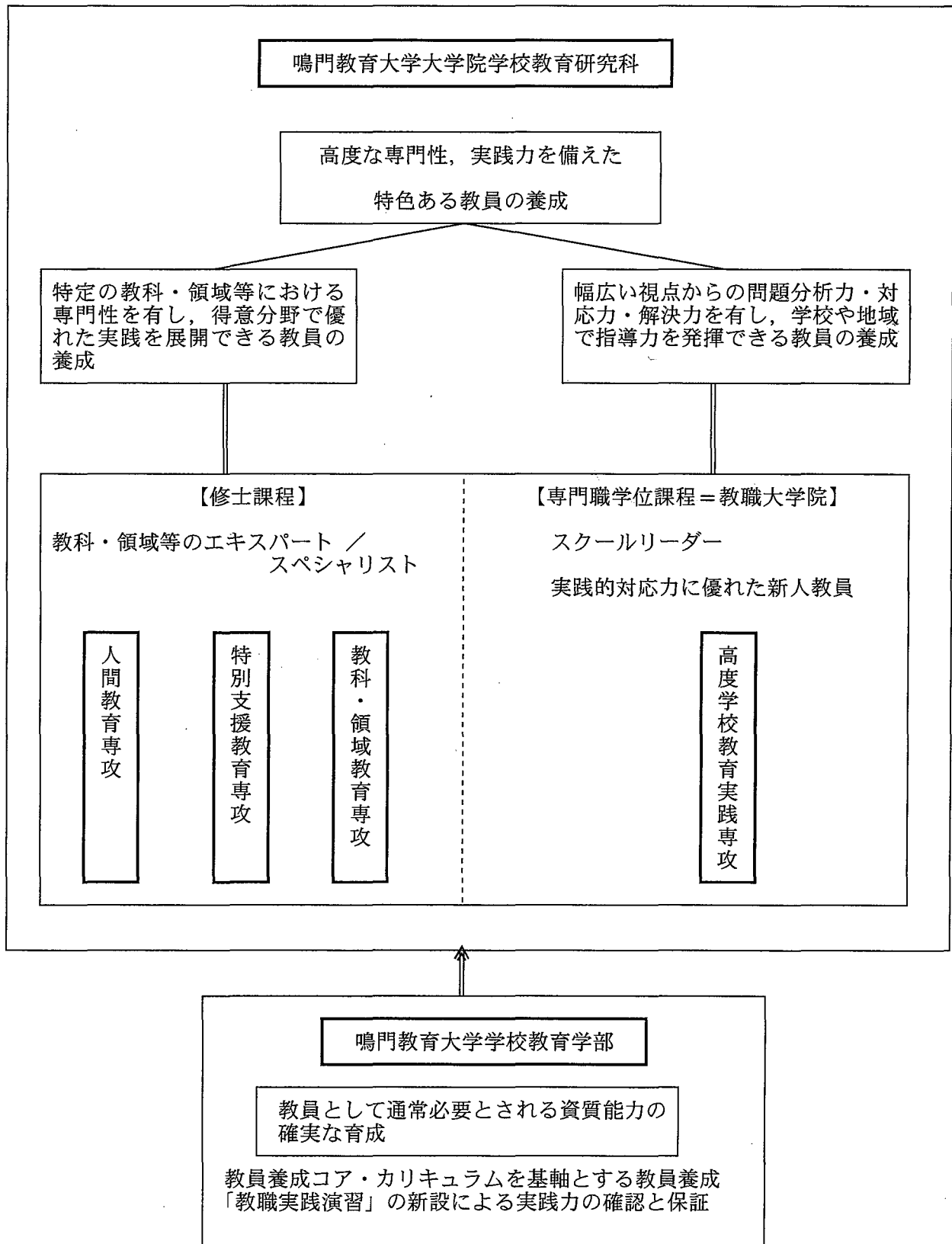
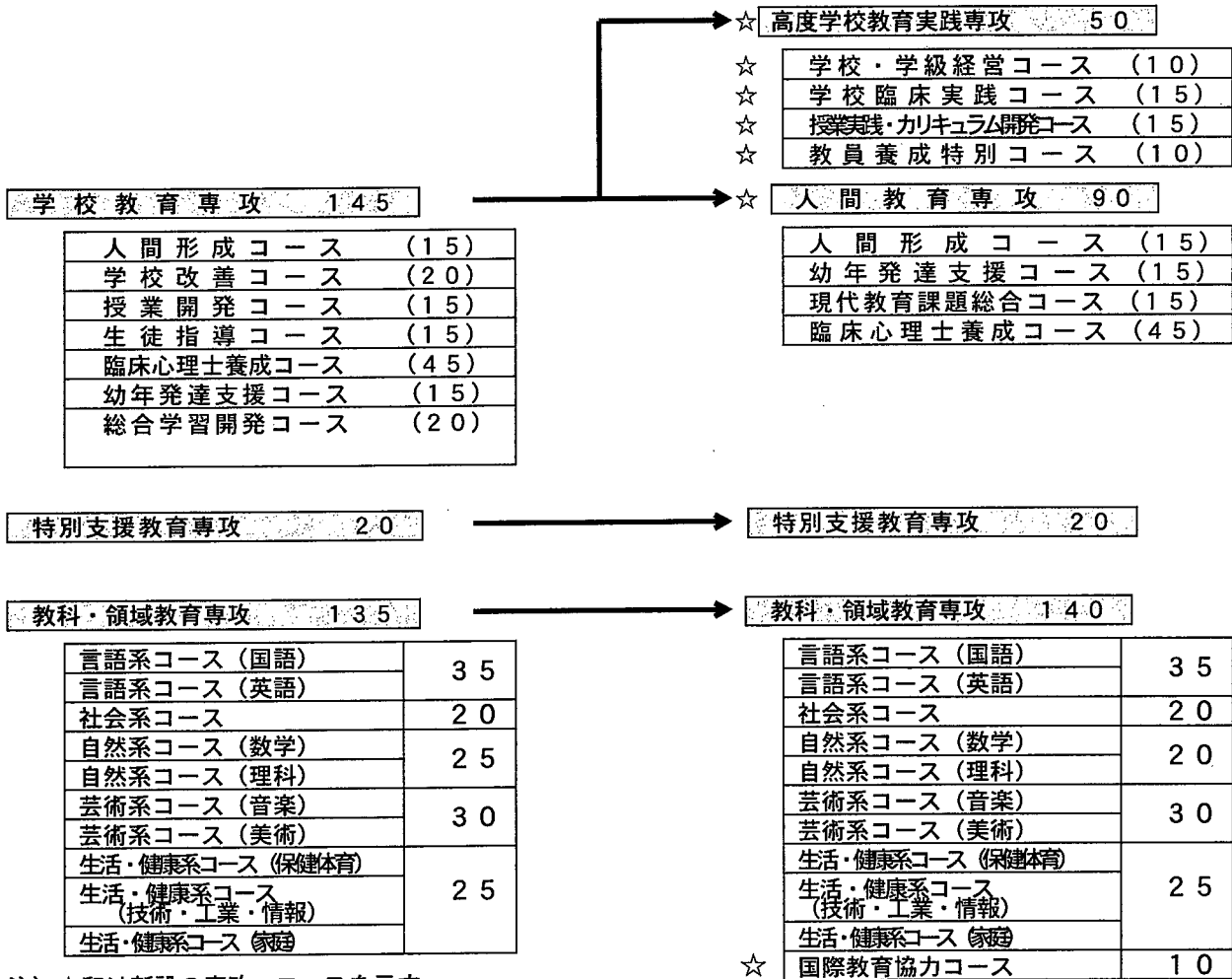


図2 大学院学校教育研究科教育組織及び教員組織の改組図

〔教育組織〕

平成19年度

平成20年度



注) ☆印は新設の専攻・コースを示す。

〔教員組織〕

平成19年度

平成20年度

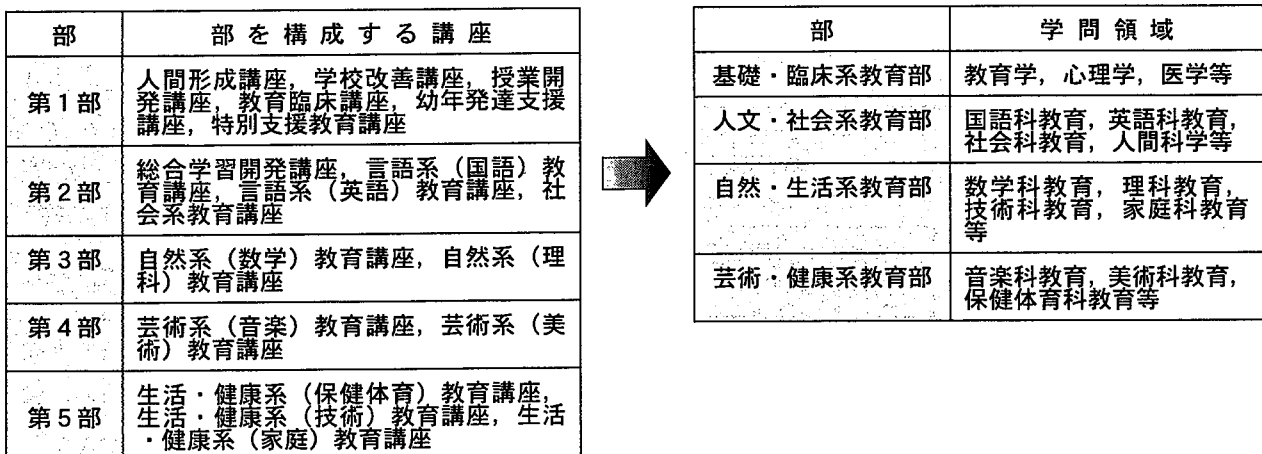


図3 平成19年度以前・平成20年度以降入学者のカリキュラム

